

授業科目名	社会教育実習
科目番号	CB27083
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2・3 年次
時間割	通年 応談
担当教員	上田 孝典
授業概要	地域において社会教育事業を実施している公私の施設、団体において、所定の期間の実習を行う。実習を通じて、幅広く社会教育事業の運営について体験的に習得する。 実習先は、つくば市内の社会教育施設や地域交流センター、市民活動センターなどの施設をはじめ、NPO団体や市民活動団体なども含めて、受講者の希望を勘案して指定する。
備考	社会教育主事（2020年度入学生から対象） 対面
授業方法	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	社会教育の職場体験を通じて、社会教育の仕事を理解し、その職務について把握する。
授業計画	各自で希望する自治体の教育委員会または社会教育施設にて実習の依頼をし、内諾を得て実施すること。 またつくば市内における地域交流センター及び市民活動団体が実施する事業に参加することも可能。 第1回 オリエンテーション~ 実習を行うための事前学習を行う。 第2回 事前学習 実習先自治体における社会教育行政の概要 第3回 事前学習 実習先自治体における社会教育施設と事業の概要 第4回 事前学習 実習先についての調査 第5回 事前学習 実習の手順と実習ノートの作成 第6回 実習(21時間) 第7回 事後学習 実習日誌の確認と情報共有 第8回 事後学習 実習の振り返りと成果報告 第9回 事後学習 実習報告書の作成 第10回 事後学習 実習報告書の作成 事前学習 5時間 実習 21時間 事後学習 4時間
履修条件	社会教育主事課程の必修科目である。 博物館学芸員資格を取得しようとするものは、博物館実習で充当することができる。 履修希望する者は、担当者へ連絡のうえ履修相談を行うこと。
成績評価方法	実習への参加 40% 実習日誌 30% 実習報告書 30%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	実習中は、毎日の内容について実習日誌に記録をすること。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	ueda at human.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞ	

むことや受講上の注意 点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント(TA)	
キーワード	